

看護師国家試験対策
全11科目 各50問 全問5肢選択問題

科目別強化トレーニング

全11科目の中から学習の進行に応じて組み合わせ自在!!



①人体の構造と機能



②疾病の成り立ちと回復の促進



③基礎看護学



④地域・在宅看護論



⑤成人看護学



⑥老年看護学



⑦小児看護学



⑧母性看護学



⑨精神看護学



⑩健康支援と
社会保障制度



⑪看護の統合と実践

2025年度版

●受験可能期間

2025年 4/2(水) ~ 2026年 3/26(木)

●受験対象学年

低学年	中学年	高学年
◎	◎	◎

●成績発送スケジュール

スピーディに成績表をお送りします。下記「マークシート締切日(必着)*」を目安に試験実施日をご設定ください。

最高学年														
マークシート返却月	4~5月		6月		7月~8月		9月		10月		11月~12月		1月	
マークシート締切日(必着)	5/9(金)	6/5(木)	7/2(水)	7/31(木)	9/4(木)	10/2(木)	11/4(火)	11/27(木)	12/24(水)	1/20(火)	1/29(木)			
成績表発送日	5/14(水)	6/10(火)	7/7(月)	8/6(水)	9/10(水)	10/7(火)	11/7(金)	12/3(水)	1/7(水)	1/23(金)	2/4(水)			

低・中学年																		
マークシート返却月	4~5月		6月		7月~8月		9月		10月		11月~12月		1月		2月		3月	
マークシート締切日(必着)	5/9(金)	6/5(木)	7/2(水)	7/31(木)	9/4(木)	10/2(木)	11/4(火)	11/27(木)	12/24(水)	1/20(火)	2/17(火)	3/3(火)	3/27(金)					
成績表発送日	5/14(水)	6/10(火)	7/7(月)	8/6(水)	9/10(水)	10/7(火)	11/7(金)	12/3(水)	1/7(水)	1/23(金)	2/20(金)	3/6(金)	4/1(水)					

*「マークシート締切日(必着)」…消印は無効ですので、ご注意ください。

●受験料(税込価格)

全11科目セット
お1人様 ~~13,200円~~ → **10,000円**

単品
お1人様 各 **1,200円**

講義も受ければ
更に合格
まっしぐら!

※講義は別途オプション料金がかかります。

医教のこだわりポイント

- ① 11科目に分かれているから、頻出テーマを網羅できる
- ② 全問5肢問題！ 知識をしっかりと身につけられる
- ③ 専門分野科目では、状況設定問題も充実



解答解説書

人体の構造と機能 [一問多肢] 神経伝達物質

【問題】5 ノルアドレナリンが神経伝達物質として働いているのはどれか。

1. 運動神経の神経終末
2. 交感神経の節前線維終末
3. 交感神経の節後線維終末
4. 副交感神経の節前線維終末
5. 副交感神経の節後線維終末

正解 / 3

1. × 運動神経終末の神経伝達物質は、アセチルコリンである。
2. × 自律神経は、神経節より中継の神経線維を節前線維、末梢部を節後線維という。
3. ○ 交感神経の節後線維終末で働く神経伝達物質は、ノルアドレナリンである（汗腺を支配する交感神経の節後線維終末からは、例外的にアセチルコリンが分泌される）。
4. × 支配する交感神経の節前線維終末からは、例外的にアセチルコリンが分泌される。
5. × 交感神経の節前線維終末、副交感神経の節前線維終末・節後線維終末で働く神経伝達物質はアセチルコリンである。

Check × Check

●自律神経系の伝達物質

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

この問題のポイント

教科書での
振り返りに役立つ

出題基準

国試出題の意図を
理解する

設問・選択肢

×選択肢からも学びが
深まる

チェックBOX

繰り返し学習は効果抜群！
得意な問題、不得意な
問題が一目でわかります

解説

なぜ○か、なぜ×か
解説でしっかり理解できる

Check × Check

問題のテーマに関する
多角的な情報・
周辺知識を補足

受験時送付物

- ・ 問題冊子
- ・ マークシート
- ・ 解答解説書 (A5版サイズ)
- ・ マークシート返却用封筒
- ・ 試験実施関連書類一式
- ・ 納品・請求書関連書類一式

成績分析

最高学年と低・中学年で母集団を分けて成績処理を行っております。

- ・ 問題別正答率表 (学内・全国の問題別正答率、選択肢別解答率)
 - ・ 受験者成績一覧 (学校順位・偏差値、受験者の個人データ (得点・順位・偏差値など) など)
 - ・ 個人別成績表 (得点、偏差値、正誤、問題別正答率など)
- ※データが必要な場合は、お声かけください。



問題数と試験時間

	問題数	配点	解答時間	試験時間
①人体・②疾病・③基礎・⑩社会保障	一般問題 (50問)	1点	1分 / 1問	50分
④在宅・⑤成人・⑥老年	一般問題 (35問)	1点	1分 / 1問	65分 (1時間5分)
⑦小児・⑧母性・⑨精神・⑪統合	状況設定問題 (15問)	2点	2分 / 1問	

*試験時間は「看護師国家試験」の解答時間を参考に設定しております。実際に行う試験時間は、学校様でお決めください。

医教がオススメする学年別の効果的な使い方例

低学年

解剖生理学をトコトン!!

解剖生理学は、専門分野、実習、国試とすべての根本となる部分。
ポイントを押さえた解答解説書を読み込んで、強みに変えていきましょう！
+ aで解説講義の受講もオススメ!!



中学年

臨地実習を国試対策にリンクさせる!!

実習は、学生にとって最大の学びの場。
そこで得た知識や経験を国試対策につなげていくことで、効果的かつ効率的な学習が可能に!



最高学年

弱点補強こそ、合格への近道!!

【看護師国家試験対策模擬試験 基礎問題篇】の成績から判明した弱点科目を【科目別強化トレーニング】で補強しましょう！
国試出題科目別に分かれ、頻出テーマばかりを集めているからこそできる補強方法です!!



科目① 人体の構造と機能 出題基準一覧					
問題	出題基準項目	この問題のポイント	問題	出題基準項目	この問題のポイント
	目標 - 大 - 中			目標 - 大 - 中	
1	I～Ⅲ-1-A) 細胞の構造	細胞質	26	I～Ⅲ-7-C) 血液型	ABO式、Rh式
2	I～Ⅲ-1-B) 遺伝子と遺伝情報	タンパク合成	27	I～Ⅲ-8-A) 体液の構成	体液の組成
3	I～Ⅲ-1-D) 組織	神経組織	28	I～Ⅲ-8-B) 体液の調節	酸塩基平衡
4	I～Ⅲ-3-A) 神経細胞と神経組織	神経細胞(ニューロン)と情報伝達	29	I～Ⅲ-9-B) 特異的生体防御反応(免疫系)	免疫系の細胞
5	I～Ⅲ-3-B) 中枢神経系の構造と機能	視床下部	30	I～Ⅲ-9-B) 特異的生体防御反応(免疫系)	抗体
6	I～Ⅲ-3-B) 中枢神経系の構造と機能	小脳	31	I～Ⅲ-9-B) 特異的生体防御反応(免疫系)	アレルギー反応
7	I～Ⅲ-3-C) 末梢神経系の構造と機能	脳神経	32	I～Ⅲ-10-A) 気道の構造と機能	気道の構造
8	I～Ⅲ-3-C) 末梢神経系の構造と機能	自律神経	33	I～Ⅲ-10-C) 縦隔	縦隔に含まれる器官
9	I～Ⅲ-4-A) 骨と骨格	骨の構造と機能	34	I～Ⅲ-10-D) 呼吸	呼吸調節
10	I～Ⅲ-4-C) 骨格筋の構造と機能	筋収縮の機構	35	I～Ⅲ-11-B) 消化と吸収	胃の構造
11	I～Ⅲ-4-C) 骨格筋の構造と機能	上肢の骨格筋	36	I～Ⅲ-11-B) 消化と吸収	肝臓の構造と機能
12	I～Ⅲ-4-C) 骨格筋の構造と機能	下肢の骨格筋	37	I～Ⅲ-11-B) 消化と吸収	肝臓・胆道の機能
13	I～Ⅲ-5-B) 視覚	眼球の構造	38	I～Ⅲ-11-B) 消化と吸収	消化管ホルモン
14	I～Ⅲ-5-C) 聴覚	外耳・中耳・内耳の構造	39	I～Ⅲ-12-A) 栄養とエネルギー代謝	基礎代謝
15	I～Ⅲ-5-D) 平衡感覚	平衡器官	40	I～Ⅲ-12-B) 物質代謝	異化作用
16	I～Ⅲ-6-A) 心臓の構造と機能	心臓の構造	41	I～Ⅲ-12-B) 物質代謝	栄養素の代謝
17	I～Ⅲ-6-A) 心臓の構造と機能	刺激伝導系と心電図	42	I～Ⅲ-13-A) 尿の生成	尿管における再吸収と分泌
18	I～Ⅲ-6-B) 血管系の構造と機能	動脈、静脈、毛細血管	43	I～Ⅲ-13-B) 体液量の調節	レニン-アンジオテンシン-アルドステロン系
19	I～Ⅲ-6-B) 血管系の構造と機能	冠循環	44	I～Ⅲ-13-C) 排尿	蓄尿反射
20	I～Ⅲ-6-B) 血管系の構造と機能	脳循環	45	I～Ⅲ-14-B) 体温の調節	熱放散と熱産生
21	I～Ⅲ-6-C) リンパ系の構造と機能	リンパ還流	46	I～Ⅲ-15-B) ホルモン分泌の調節	フィードバック機構
22	I～Ⅲ-7-A) 血液の成分と機能	血液の成分	47	I～Ⅲ-15-C) 内分泌器官の構造とホルモンの機能	副甲状腺(上皮小体)
23	I～Ⅲ-7-A) 血液の成分と機能	血漿の成分と働き	48	I～Ⅲ-16-A) 女性の生殖系の構造と機能	性周期
24	I～Ⅲ-7-A) 血液の成分と機能	血液の物理化学的特性	49	I～Ⅲ-16-B) 男性の生殖系の構造と機能	精子の形成
25	I～Ⅲ-7-B) 止血機構	血液凝固	50	I～Ⅲ-16-B) 男性の生殖系の構造と機能	前立腺

※「出題基準項目」「この問題のポイント」は変更になることがあります。

科目② 疾病の成り立ちと回復の促進 出題基準一覧

問題	出題基準項目	この問題のポイント	問題	出題基準項目	この問題のポイント
	目標 - 大 - 中			目標 - 大 - 中	
1	I-1-A) 疾病の予防・早期発見	予防接種	26	IV-5-A) 呼吸器系の疾患の病態と診断・治療	肺癌
2	I-2-A) 疾病の要因	内因(宿主要因)	27	IV-6-A) 心臓の疾患の病態と診断・治療	虚血性心疾患
3	I-2-A) 疾病の要因	生活習慣	28	IV-6-A) 心臓の疾患の病態と診断・治療	拡張型心筋症
4	II-3-A) 細胞の障害	壊死(ネクローシス)	29	IV-6-A) 心臓の疾患の病態と診断・治療	不整脈
5	II-3-B) 生体の障害	循環障害	30	IV-6-B) 血管系の疾患の病態と診断・治療	閉塞性動脈硬化症
6	II-3-B) 生体の障害	アレルギー	31	IV-7-B) 上部消化管の疾患の病態と診断・治療	食道癌
7	II-3-B) 生体の障害	先天異常	32	IV-7-C) 下部消化管の疾患の病態と診断・治療	腸閉塞
8	II-3-B) 生体の障害	腫瘍	33	IV-7-D) 肝臓・胆・膵臓の疾患の病態と診断・治療	肝性脳症
9	II-3-C) 人と病原体の関わり	感染経路	34	IV-8-A) 内分泌系の疾患の病態と診断・治療	下垂体疾患
10	II-3-C) 人と病原体の関わり	ウイルス	35	IV-8-B) 代謝異常の疾患の病態と診断・治療	糖尿病
11	II-3-C) 人と病原体の関わり	黄色ブドウ球菌	36	IV-8-B) 代謝異常の疾患の病態と診断・治療	脂質異常症
12	II-3-C) 人と病原体の関わり	A群溶血性レンサ球菌	37	IV-8-B) 代謝異常の疾患の病態と診断・治療	高尿酸血症
13	II-3-C) 人と病原体の関わり	リケッチア	38	IV-9-A) 血液・造血管の疾患の病態と診断・治療	多発性骨髄腫
14	II-3-C) 人と病原体の関わり	薬剤耐性(AMR)(多剤耐性菌)	39	IV-10-A) 感染性疾患の病態と診断・治療	ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染症
15	III-4-B) 薬物の特性	血栓溶解薬	40	IV-10-A) 感染性疾患の病態と診断・治療	敗血症
16	III-4-B) 薬物の特性	投与禁忌	41	IV-11-A) 自己免疫疾患の病態と診断・治療	関節リウマチ
17	III-4-B) 薬物の特性	ジギタリス中毒	42	IV-11-A) 自己免疫疾患の病態と診断・治療	Sjögren(シェーグレン)症候群
18	III-4-B) 薬物の特性	抗癌薬の副作用	43	IV-11-B) アレルギー性疾患の病態と診断・治療	アナフィラキシーショック
19	III-4-B) 薬物の特性	副腎皮質ステロイド薬の副作用	44	IV-12-A) 中枢神経系の疾患の病態と診断・治療	頭蓋内圧亢進症
20	III-4-C) 治療方法	内視鏡治療	45	IV-12-A) 中枢神経系の疾患の病態と診断・治療	筋萎縮性側索硬化症(ALS)
21	III-4-C) 治療方法	輸血	46	IV-12-C) 感覚器系の疾患の病態と診断・治療	緑内障
22	III-4-C) 治療方法	臓器移植	47	IV-14-A) 運動器系の疾患の病態と診断・治療	骨折
23	III-4-C) 治療方法	人工透析	48	IV-15-A) 泌尿器系の疾患の病態と診断・治療	水腎症
24	III-4-D) 医療による健康被害	薬害	49	IV-16-A) 生殖器系の疾患の病態と診断・治療	子宮頸癌
25	IV-5-A) 呼吸器系の疾患の病態と診断・治療	肺塞栓症	50	IV-17-A) 精神・心身の疾患の病態と診断・治療	せん妄

科目③ 基礎看護学 出題基準一覧

問題	出題基準項目	この問題のポイント	問題	出題基準項目	この問題のポイント
	目標 - 大 - 中			目標 - 大 - 中	
1	I-1-A) 看護の本質	看護の定義	26	II-4-B) 食事と栄養	健康な食生活と食事摂取基準
2	I-1-B) 看護の対象	全体(whole)としての人間	27	II-4-B) 食事と栄養	嚥下障害のある人への援助
3	I-1-C) 健康と生活	健康のとらえ方	28	II-4-B) 食事と栄養	経静脈栄養法
4	I-1-C) 健康と生活	健康への影響要因	29	II-4-C) 排泄	自然な排泄を促す援助
5	I-1-D) 看護における倫理	個人の尊厳	30	II-4-C) 排泄	自然な排泄が困難な人への援助
6	I-2-A) 対象との関係の形成	信頼関係	31	II-4-D) 活動と運動	活動と運動を促す援助
7	I-2-B) 基盤となる思考過程	根拠に基づいた看護(EBN)	32	II-4-E) 休息と睡眠	休息と睡眠に影響する要因
8	I-2-C) 看護における連携と協働	チームでの活動	33	II-4-F) 清潔と衣生活	清潔行動の自立困難な人への援助
9	II-3-A) コミュニケーション	コミュニケーションの基本的な技法	34	II-5-A) 呼吸、循環、体温調整	酸素吸入の適応と方法
10	II-3-C) 看護過程	情報収集	35	II-5-A) 呼吸、循環、体温調整	体温調整のための方法
11	II-3-C) 看護過程	計画	36	II-5-B) 皮膚・創傷管理	創傷の治癒過程
12	II-3-D) 看護業務に関する情報	看護業務に関する情報の記録	37	II-5-C) 与薬	薬剤の種類と取り扱い方法
13	II-3-D) 看護業務に関する情報	看護業務に関する情報の共有	38	II-5-C) 与薬	薬剤の取り扱い方法
14	II-3-E) フィジカルアセスメント	問診	39	II-5-C) 与薬	与薬方法と効果の観察
15	II-3-E) フィジカルアセスメント	身体診察(触診)の基本	40	II-5-D) 輸液・輸血管理	輸液の副作用(有害事象)の観察
16	II-3-F) 感染防止対策	標準予防策(スタンダードプリコーション)	41	II-5-E) 救命救急処置	生命の危機的状況のアセスメント
17	II-3-F) 感染防止対策	無菌操作	42	II-5-E) 救命救急処置	一次救命処置(BLS)
18	II-3-G) 安全管理<セーフティマネジメント>	医療安全	43	II-5-F) 生体機能のモニタリング	診察時の看護師の役割
19	II-3-G) 安全管理<セーフティマネジメント>	医療安全の概念	44	II-5-F) 生体機能のモニタリング	検体検査(尿)
20	II-3-G) 安全管理<セーフティマネジメント>	転倒・転落の予防と対策	45	II-5-F) 生体機能のモニタリング	生体検査(心電図)
21	II-3-G) 安全管理<セーフティマネジメント>	針刺しの予防と対策	46	II-5-F) 生体機能のモニタリング	経皮的動脈血酸素飽和度(SpO ₂)の測定
22	II-3-H) 安楽の確保	安楽な姿勢・体位の保持	47	III-6-A) 看護の場に応じた活動	保健施設と福祉施設における看護活動
23	II-3-H) 安楽の確保	安楽を提供するためのケア	48	III-6-B) 保健・医療・福祉の連携と継続看護	チームにおける看護職の役割と機能
24	II-3-I) 終末期のケア	死亡後のケア	49	III-6-B) 保健・医療・福祉の連携と継続看護	医療・福祉における看護職の役割
25	II-4-A) 環境	療養環境のアセスメント	50	III-6-B) 保健・医療・福祉の連携と継続看護	施設間における継続看護

※「出題基準項目」「この問題のポイント」は変更になることがあります。

科目④ 地域・在宅看護論 出題基準一覧

問題	出題基準項目		問題	出題基準項目	
	目標 - 大 - 中	この問題のポイント		目標 - 大 - 中	この問題のポイント
1	I-1-A) 在宅療養者の特徴と健康課題	疾病や障害をもつ在宅療養者	26	II-7-A) 在宅療養者の生活機能のアセスメント	日常生活動作(ADL)
2	I-1-B) 在宅療養者のいる家族の理解と健康課題	家族システム論	27	II-7-B) 在宅療養者の食事・栄養を支えるケア	嚥下を促すケア
3	I-2-B) 在宅療養者の権利の保障	在宅療養者の権利擁護(アドボカシー)	28	II-7-B) 在宅療養者の食事・栄養を支えるケア	口腔ケア
4	I-2-B) 在宅療養者の権利の保障	虐待の防止	29	II-7-C) 在宅療養者の排泄を支えるケア	排尿のアセスメント
5	I-2-C) 在宅療養者の自立支援	価値観の尊重	30	II-7-C) 在宅療養者の排泄を支えるケア	ストーマケア
6	I-2-C) 在宅療養者の自立支援	QOLの維持・向上	31	II-7-D) 在宅療養者の清潔を支えるケア	清潔保持のためのケア
7	I-2-C) 在宅療養者の自立支援	糖尿病のセルフケア	32	II-7-F) 在宅療養者のコミュニケーションを支えるケア	補助機器の種類と使用
8	I-2-C) 在宅療養者の自立支援	閉じこもりの予防	33	III-8-B) 地域包括支援センターとの連携	地域包括支援センターの役割
9	I-2-D) 地域・在宅看護の目的と特徴	退院に関する意思決定の支援	34	III-8-C) 居宅介護支援事業所との連携	介護支援専門員の役割
10	I-4-A) 訪問看護制度の理解	訪問看護の対象と提供方法	35	III-9-B) 地域包括ケアシステムにおける看護職の役割	訪問看護の役割
11	I-4-B) 地域・在宅看護におけるサービス体系の理解	訪問系サービス	36	高齢者への転倒防止の日常生活指導	高齢者への転倒防止の指導
12	II-5-A) 病期に応じた在宅療養者への看護	急性動脈塞栓症の既往のある在宅療養者の看護	37	高齢者の安全な入浴のための工夫	
13	II-5-A) 病期に応じた在宅療養者への看護	脳出血後遺症の在宅療養者の家族の看護	38	老老介護における介護負担の軽減	在宅高齢者の虐待防止
14	II-5-A) 病期に応じた在宅療養者への看護	訪問リハビリを行う在宅療養者と家族の看護	39	在宅高齢者の虐待の有無のアセスメント	
15	II-5-A) 病期に応じた在宅療養者への看護	急性増悪した在宅療養者と家族の看護	40	在宅高齢者の虐待防止のための援助	
16	II-5-A) 病期に応じた在宅療養者への看護	終末期にある在宅療養者の看護	41	在宅高齢者の虐待確認後の対応	
17	II-5-A) 病期に応じた在宅療養者への看護	臨死期の在宅療養者の家族の看護	42	臨死期の前の準備と対応	在宅終末期患者と家族の看護
18	II-5-B) 療養の場の移行に伴う看護	入退院支援	43	在宅終末期患者の家族に対するケア	
19	II-6-C) 主な治療等に応じた在宅看護	薬物療法	44	在宅終末期患者の家族に説明すべき内容	胃癌患者の在宅療養の看護
20	II-6-C) 主な治療等に応じた在宅看護	酸素療法	45	在宅療養にむけた家族への援助	
21	II-6-C) 主な治療等に応じた在宅看護	人工呼吸療法	46	がん性疼痛薬の副作用(有害事象)に関する説明	
22	II-6-C) 主な治療等に応じた在宅看護	胃瘻の合併症の予防	47	胃癌患者の療養生活と職場復帰の両立支援	筋ジストロフィー患児と家族の看護
23	II-6-C) 主な治療等に応じた在宅看護	経管栄養療法	48	経鼻経管栄養時の腹痛への対応	
24	II-6-C) 主な治療等に応じた在宅看護	中心静脈栄養法の指導	49	食事介助とむせの状況アセスメント	
25	II-6-C) 主な治療等に応じた在宅看護	感染予防対策	50	誤嚥性肺炎予防の家族指導	

科目⑤ 成人看護学 出題基準一覧

問題	出題基準項目		問題	出題基準項目	
	目標 - 大 - 中	この問題のポイント		目標 - 大 - 中	この問題のポイント
1	I-1-A) 成人期の発達の特徴	身体的な特徴	26	VII-16-D) 病期や機能障害に応じた看護	アレルギー性疾患
2	I-2-A) 生活習慣に関連する健康課題	健康問題の現状と推移	27	VII-16-D) 病期や機能障害に応じた看護	血液疾患(造血器腫瘍)
3	II-4-B) 救急看護・クリティカルケアの基本	急性症状の応急処置	28	VII-17-A) 原因と障害の程度のアセスメントと看護	生命維持活動調節機能障害
4	II-5-B) 術中の看護	手術体位による影響と援助	29	VII-17-D) 病期や機能障害に応じた看護	脊髄損傷
5	II-5-D) 術後合併症と予防	深部静脈血栓症	30	VII-17-D) 病期や機能障害に応じた看護	筋萎縮性側索硬化症(ALS)
6	II-5-E) 術後の機能障害や生活制限への看護	セルフケア能力の獲得	31	VII-18-B) 検査・処置を受ける患者への看護	聴力検査
7	III-6-C) セルフケア・自己管理を促進する看護	アドヒアランスに影響する要因	32	VII-19-C) 治療を受ける患者への看護	人工関節置換術
8	IV-7-A) リハビリテーションの特徴	機能障害と分類	33	VII-19-D) 病期や機能障害に応じた看護	関節リウマチ
9	V-8-A) がん患者の抱える苦痛	転移・浸潤に伴う身体的苦痛	34	VII-20-A) 原因と障害の程度のアセスメントと看護	蓄尿・排尿障害
10	V-8-B) がん患者の集学的治療と看護	薬物療法と看護	35	VII-21-C) 治療を受ける患者への看護	乳癌手術
11	V-8-B) がん患者の集学的治療と看護	放射線療法と看護	36	自然気胸のアセスメント	自然気胸患者の看護
12	VI-9-B) エンド・オブ・ライフ・ケア(end-of-life care)	アドバンスケアプランニング(ACP)	37	胸腔ドレーン挿入直後の看護	
13	VII-10-B) 検査・処置を受ける患者への看護	動脈血ガス分析	38	自然気胸患者の退院指導	不整脈患者の看護
14	VII-10-D) 病期や機能障害に応じた看護	腫瘍(悪性中皮腫)	39	完全房室ブロックの心電図波形	
15	VII-11-D) 病期や機能障害に応じた看護	心不全	40	アダムス-ストークス症候群の予防策	
16	VII-12-B) 検査・処置を受ける患者への看護	消化管造影検査	41	ペースメーカー挿入患者への生活指導	慢性腎不全患者の看護
17	VII-12-C) 治療を受ける患者への看護	胃切除術	42	慢性腎不全患者への安静・食事療法の指導	
18	VII-12-C) 治療を受ける患者への看護	人工肛門造設術	43	高血圧と腎機能の関係	
19	VII-12-C) 治療を受ける患者への看護	胆道ドレナージ	44	連続携行式腹膜透析を行う患者への生活指導	Basedow(バセドウ)病患者の看護
20	VII-13-A) 原因と障害の程度のアセスメントと看護	代謝機能障害	45	バセドウ病の血液検査	
21	VII-13-D) 病期や機能障害に応じた看護	高尿酸血症	46	ヨウ素を多く含む食品の注意点	
22	VII-15-A) 原因と障害の程度のアセスメントと看護	下垂体機能障害	47	バセドウ病患者の退院に向けた生活指導	全身性エリテマトーデス(SLE)患者の看護
23	VII-15-C) 治療を受ける患者への看護	甲状腺ホルモン療法	48	全身性エリテマトーデス患者の入院前の生活指導	
24	VII-15-C) 治療を受ける患者への看護	運動療法	49	プレドニゾロンの副作用	
25	VII-16-A) 原因と障害の程度のアセスメントと看護	免疫機能障害	50	全身性エリテマトーデス患者への病態の説明	

※「出題基準項目」「この問題のポイント」は変更になることがあります。科目④～⑨、⑪の問題36～50状況設定問題では、「出題基準項目」に代わって「読み解きの留意点」を掲載しました。

科目⑥ 老年看護学 出題基準一覧

問題	出題基準項目	この問題のポイント	問題	出題基準項目	この問題のポイント
	目標 - 大 - 中			目標 - 大 - 中	
1	I-1-A) 老年期の発達と変化	老年期の発達課題	26	II-7-D) 高齢者に特有な疾患・障害の予防と看護	老人性皮膚痒疹
2	I-2-A) 高齢者の機能と評価	高齢者総合機能評価(CGA)	27	II-7-D) 高齢者に特有な疾患・障害の予防と看護	廃用症候群
3	I-2-B) その人らしい生活の継続	高齢者の生活リズム	28	II-7-D) 高齢者に特有な疾患・障害の予防と看護	尿失禁
4	I-3-B) 老年期における身体機能の変化	免疫系	29	II-7-E) 認知機能が低下した高齢者の看護	認知機能検査
5	I-3-C) 老年期における認知機能の変化	記憶力の変化	30	II-8-A) 疾患や障害をもつ高齢者の家族への支援	介護者の社会生活
6	I-3-D) 老年期における心理・社会的変化と健康への影響	高齢者の就労・雇用	31	II-8-A) 疾患や障害をもつ高齢者の家族への支援	介護状況と介護力の評価
7	I-4-A) 老年看護に用いられる概念・モデル・理論	エンパワメント	32	III-9-B) 介護保険施設に入所する高齢者の暮らしと看護	介護保険施設の種類と特徴
8	I-4-B) 老年看護の倫理	養護者による高齢者虐待	33	III-9-C) 地域でサービスを利用しながら暮らす高齢者の暮らしと看護	福祉用具の活用
9	I-4-B) 老年看護の倫理	高齢者虐待の防止	34	III-9-D) 生活の場を変える高齢者への支援	入所時の援助
10	I-4-C) 高齢者の生活を支える制度と施策	成年後見制度	35	III-9-G) 避難生活を送る高齢者の看護	避難所での生活と健康維持
11	II-5-A) 高齢者のコミュニケーションの特徴と援助	認知機能に応じたコミュニケーション	36		脳梗塞仰臥位患者の入院ケア
12	II-5-B) 高齢者の安全な活動への援助	転倒発生の要因	37	褥瘡の進行状態	
13	II-5-B) 高齢者の安全な活動への援助	身体機能に応じた安全な活動の維持・拡大の支援	38	意識レベルの回復しない脳梗塞患者の褥瘡ケア	終末期患者の看護
14	II-5-D) 高齢者の排泄の特徴と援助	身体機能に応じた排泄の支援	39	中心静脈栄養法の特徴	
15	II-5-F) 高齢者の活動と休息のバランスの特徴と援助	高齢者の睡眠障害	40	終末期患者の看護	終末期患者の看護
16	II-6-E) 終末期にある高齢者と家族への看護	高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケア	41	終末期患者へのスピリチュアルケア	
17	II-6-E) 終末期にある高齢者と家族への看護	アドバンス・ケア・プランニング(ACP)	42	半側空間無視のアセスメント	麻痺や高次脳機能障害のある脳梗塞患者の看護
18	II-6-H) 薬物治療を受ける高齢者の看護	高齢者の服薬行動の特徴	43	ウェルニッケ失語のある脳梗塞患者の家族への看護	
19	II-6-I) 手術療法を受ける高齢者の看護	術後せん妄	44	身体に麻痺がある患者への入浴介助	認知症患者の看護
20	II-7-A) 高齢者に特有な疾患・障害の病態と要因	感染症(肺炎)	45	認知症患者のアセスメント	
21	II-7-A) 高齢者に特有な疾患・障害の病態と要因	誤嚥性肺炎	46	認知症患者が利用できる社会資源	認知症患者の看護
22	II-7-A) 高齢者に特有な疾患・障害の病態と要因	視覚障害	47	認知症患者と家族への支援	
23	II-7-A) 高齢者に特有な疾患・障害の病態と要因	低栄養状態	48	介護老人保健施設入所中の高齢者の退所支援	入所高齢者の生活上の課題と援助
24	II-7-A) 高齢者に特有な疾患・障害の病態と要因	老年期に特有のせん妄	49	リハビリテーションを受ける高齢者の援助	
25	II-7-A) 高齢者に特有な疾患・障害の病態と要因	Parkinson(パーキンソン)病	50	介護保険による住宅改修	

科目⑦ 小児看護学 出題基準一覧

問題	出題基準項目	この問題のポイント	問題	出題基準項目	この問題のポイント
	目標 - 大 - 中			目標 - 大 - 中	
1	I-1-A) 小児医療・小児看護の変遷と課題	小児医療・看護の課題	26	IV-7-A) 急性症状のある子どもと家族への看護	乳児の発熱
2	I-1-C) 子どもと家族を取り巻く社会資源の活用	小児慢性特定疾病医療費助成制度	27	IV-7-A) 急性症状のある子どもと家族への看護	嘔吐
3	I-2-A) 子どもの成長・発達の原則と影響因子	成長・発達に影響する因子	28	IV-7-A) 急性症状のある子どもと家族への看護	呼吸困難がある時の援助
4	I-2-A) 子どもの成長・発達の原則と影響因子	ピアジェの発達理論	29	IV-7-B) 救急救命処置が必要な子どもと家族への看護	主な誤飲物質と処置
5	I-2-B) 子どもの成長・発達のアセスメント	形態的成長	30	IV-7-C) 周手術期における子どもと家族への看護	計画手術
6	I-2-B) 子どもの成長・発達のアセスメント	身体発育の評価(肥満度)	31	IV-8-A) 先天性疾患や慢性的な経過をとる疾患をもつ子どもと家族への看護	Down(ダウン)症候群
7	I-2-B) 子どもの成長・発達のアセスメント	身体発育の評価(パーセントイル)	32	IV-8-A) 先天性疾患や慢性的な経過をとる疾患をもつ子どもと家族への看護	Fallot(ファロー)四徴症
8	I-2-B) 子どもの成長・発達のアセスメント	発達検査(粗大運動)	33	IV-8-C) 医療的ケアを必要とする子どもと家族への看護	入院生活から在宅への移行に向けた支援
9	I-2-C) 小児期における成長・発達の特徴	神経系	34	IV-8-C) 医療的ケアを必要とする子どもと家族への看護	多職種との連携
10	I-2-C) 小児期における成長・発達の特徴	コミュニケーション、言語	35	IV-8-C) 医療的ケアを必要とする子どもと家族への看護	子どものセルフケア行動の促進
11	I-3-A) 栄養と食生活	授乳(母乳栄養)	36		小児の気管支喘息の看護
12	I-3-A) 栄養と食生活	離乳の進め方	37	喘息の急性増悪(発作)の強度を判定する検査	
13	I-3-D) 事故防止と安全教育	幼児期の事故防止	38	喘息の急性増悪(発作)に対する点滴治療時の観察項目	食物アレルギーのある児と家族の看護
14	I-3-F) 感染症と予防	予防接種(Hibワクチン)	39	副腎皮質ステロイド吸入薬の生活指導	
15	I-3-F) 感染症と予防	学校感染症	40	食物アレルギー発症時の情報収集	食物アレルギーのある児と家族の看護
16	I-3-G) セルフケアと保健教育	う歯の予防	41	アナフィラキシーショック時の対応	
17	I-3-H) 問題行動の防止	いじめ・校内暴力の防止	42	アドレナリン自己注射薬(エピペン)の指導	心室中隔欠損症患児と家族の看護
18	II-4-A) 病気に対する子どもの理解と説明	インフォームド・アセント	43	心室中隔欠損症における心臓内の血流	
19	II-4-B) プレパレーション	検査・処置を受ける子どもと家族への支援	44	心不全悪化の際の観察注意点	先天性心疾患のある児の家族への看護
20	II-4-E) 痛みを表現している子どもと家族への看護	痛みの客観的評価	45	先天性心疾患のある児の家族への看護	
21	II-4-F) 活動制限が必要な子どもと家族への看護	子どもの発達に応じた日常生活への援助	46	先天異常の児を持った親への看護	外性器異常の児と家族の看護
22	II-4-G) 感染対策上隔離が必要な子どもと家族への看護	子どもの発達に応じた日常生活への援助	47	外性器異常の児の家族への退院後の生活指導	
23	II-5-A) 小児特有の診療(検査、処置)に伴う技術と看護	乳児への経口与薬	48	ネフローゼ症候群急性期にみられる尿の特徴	ネフローゼ症候群患児と家族の看護
24	III-6-A) 虐待を受けている子どもと家族への看護	子どもへの虐待の特徴	49	副腎皮質ステロイド薬治療中の児への対応	
25	III-6-A) 虐待を受けている子どもと家族への看護	多機関・多職種連携・協働	50	ネフローゼ症候群患児の家族への生活指導	

※「出題基準項目」「この問題のポイント」は変更になることがあります。科目④～⑨、⑪の問題 36～50 状況設定問題では、「出題基準項目」に代わって「読み解きの留意点」を掲載しました。

科目⑧ 母性看護学 出題基準一覧

問題	出題基準項目	この問題のポイント	問題	出題基準項目	この問題のポイント
	目標 - 大 - 中			目標 - 大 - 中	
1	I-1-A) 母子を取り巻く環境	在留外国人の母子支援	26	Ⅲ-5-A) 正常な分娩の経過と分娩期の異常	微弱陣痛
2	I-1-B) 妊娠期からの切れ目ない支援に関する法や施策	母子保健法	27	Ⅲ-5-C) 産婦と家族への看護	産婦と家族の心理への援助
3	I-1-B) 妊娠期からの切れ目ない支援に関する法や施策	児童福祉法	28	Ⅲ-5-D) 分娩期の健康問題に対する看護	前期破水
4	I-1-C) 働く妊産婦への支援に関する法や施策	男女雇用機会均等法	29	Ⅲ-6-A) 正常な産褥の経過と産褥期の異常	産褥期の身体的特徴
5	I-1-D) 女性の健康支援に関する法や施策	DV防止法	30	Ⅲ-6-A) 正常な産褥の経過と産褥期の異常	産後うつ病
6	I-1-D) 女性の健康支援に関する法や施策	母体保護法	31	Ⅲ-6-C) 産婦と家族への看護	産褥復古に関する支援
7	I-2-A) リプロダクティブ・ヘルスに関する概念	性同一性障害 (GID) / 性別違和 (GD)	32	Ⅲ-6-C) 産婦と家族への看護	産後のサポート
8	Ⅱ-3-A) 思春期・成熟期女性の健康維持への看護	第二次的性徴	33	Ⅲ-7-B) 早期新生児期のアセスメント	Apgar (アプガー) スコア
9	Ⅱ-3-A) 思春期・成熟期女性の健康維持への看護	性周期 (初経、月経)	34	Ⅲ-7-C) 早期新生児とその家族への看護	哺乳
10	Ⅱ-3-B) 思春期・成熟期女性の健康課題	月経異常、月経随伴症状	35	Ⅲ-7-D) 早期新生児の健康問題への看護	低出生体重児
11	Ⅱ-3-B) 思春期・成熟期女性の健康課題	月経随伴症状	36	分娩予定日の計算	初産婦への看護
12	Ⅱ-3-B) 思春期・成熟期女性の健康課題	性感染症 (STI)	37	初産婦の妊娠診断における看護師の対応	
13	Ⅱ-3-B) 思春期・成熟期女性の健康課題	不妊症 (男性不妊症、女性不妊症)	38	妊娠 20 週前後の初産婦への看護	前置胎盤妊婦の看護
14	Ⅱ-3-C) 更年期・老年期女性の健康と看護	更年期障害	39	前置胎盤のアセスメント	
15	Ⅱ-3-C) 更年期・老年期女性の健康と看護	ホルモンの変化	40	前置胎盤妊婦への生活指導	
16	Ⅲ-4-A) 正常な妊娠経過と妊娠期の異常	性分化	41	前置胎盤妊婦への分娩に関する説明	帝王切開術を受けた産婦の看護
17	Ⅲ-4-A) 正常な妊娠経過と妊娠期の異常	妊娠の成立	42	妊婦への予定帝王切開の説明	
18	Ⅲ-4-A) 正常な妊娠経過と妊娠期の異常	常位胎盤早期剥離	43	帝王切開術後の産婦の看護	
19	Ⅲ-4-A) 正常な妊娠経過と妊娠期の異常	妊娠高血圧症候群	44	帝王切開術後の産婦のこころのケア	
20	Ⅲ-4-A) 正常な妊娠経過と妊娠期の異常	妊娠悪阻	45	初産婦の入院時のアセスメント	正常な分娩経過
21	Ⅲ-4-B) 妊婦の健康生活とアセスメント	妊娠による不快症状	46	早発一過性徐脈のアセスメント	
22	Ⅲ-4-D) 妊娠期の健康問題に対する看護	出生前診断	47	産婦の心理への対応	
23	Ⅲ-4-E) 妊娠期のケアに必要な技術	Leopold (レオポルド) 触診法	48	乳房うっ積のアセスメント	産褥期の母乳育児への看護
24	Ⅲ-5-A) 正常な分娩の経過と分娩期の異常	分娩経過と進行	49	乳房うっ積時の産婦への母乳育児指導	
25	Ⅲ-5-A) 正常な分娩の経過と分娩期の異常	陣痛、産痛	50	授乳婦の栄養摂取基準	

科目⑨ 精神看護学 出題基準一覧

問題	出題基準項目	この問題のポイント	問題	出題基準項目	この問題のポイント
	目標 - 大 - 中			目標 - 大 - 中	
1	I-1-A) 精神の健康の概念	精神障害の二次予防	26	Ⅳ-4-C) B 以外の治療法	家族の対処力/ソーシャルサポートのアセスメント
2	I-1-B) 心の機能と発達	防衛機制	27	Ⅳ-4-E) 家族への看護	精神科デイケア
3	I-1-D) 危機 (クライシス)	危機 (クライシス) の概念	28	Ⅳ-4-G) 精神保健医療福祉に関する社会資源の活用と調整	就労継続支援B型
4	Ⅱ-2-A) 症状性を含む器質性精神障害	危機介入	29	Ⅴ-5-A) 安全管理 (セーフティマネジメント)	共同生活援助 (グループホーム)
5	Ⅱ-2-A) 症状性を含む器質性精神障害	ストレスと対処	30	Ⅴ-5-A) 安全管理 (セーフティマネジメント)	自殺企図
6	Ⅱ-2-A) 症状性を含む器質性精神障害	災害時の精神障害者への治療継続	31	Ⅴ-6-A) 患者の権利擁護 (アドボカシー)	身体拘束
7	Ⅱ-2-B) 精神作用物質使用による精神・行動の障害	認知症の症状	32	Ⅴ-6-B) 精神保健医療福祉の変遷と看護	日本における精神医療の変遷
8	Ⅱ-2-B) 精神作用物質使用による精神・行動の障害	認知症の症状と看護	33	Ⅴ-6-C) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 (精神保健福祉法) の運用	精神保健福祉法
9	Ⅱ-2-C) 統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害	夜間せん妄の症状と看護	34	Ⅴ-7-A) 多職種連携と看護の役割	入院形態
10	Ⅱ-2-C) 統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害	アルコール依存症の症状と看護	35	Ⅴ-7-A) 多職種連携と看護の役割	ピアサポーター
11	Ⅱ-2-C) 統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害	統合失調症の症状と看護	36	レビー小体型認知症患者の症状アセスメント	ギャンブル依存症の看護
12	Ⅱ-2-D) 気分 (感情) 障害	統合失調症の症状	37	レビー小体型認知症患者の幻覚の対応	
13	Ⅱ-2-D) 気分 (感情) 障害	統合失調症の看護	38	レビー小体型認知症患者の退院に向けた支援	統合失調症の急性期の看護
14	Ⅱ-2-D) 気分 (感情) 障害	うつ病の生物学的成因	39	アルコール依存症患者の身体症状のアセスメント	
15	Ⅱ-2-E) 神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害	躁うつ病の看護	40	アルコール依存症患者の離脱症状時のアセスメント	
16	Ⅱ-2-E) 神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害	強迫性障害の症状	41	アルコール依存症患者の家族支援	うつ病の看護
17	Ⅱ-2-F) 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	てんかんの検査	42	統合失調症患者の精神症状のアセスメント	
18	Ⅱ-2-J) 心理的発達の障害	パーソナリティ障害の症状	43	不安症状が著しい統合失調症患者の対応	
19	Ⅱ-2-K) 小児期・青年期に発症する行動・情緒の障害	注意欠如・多動性障害 (ADHD) の看護	44	非定型抗精神病薬の副作用 (有害事象)	摂食障害の看護
20	Ⅲ-3-A) 援助関係の構築	プロセスレコード	45	うつ病患者の症状のアセスメント	
21	Ⅲ-3-C) 生きる力と強さに着目した援助	ストレングス (強み、力)	46	SSRI の副作用	てんかんの看護
22	Ⅳ-4-A) 脳の仕組みと精神機能	向精神薬の薬理作用	47	うつ病回復期患者の家族指導	
23	Ⅳ-4-B) 心理・社会的療法	抗精神病薬の薬理作用	48	パニック発作の症状	てんかんの看護
24	Ⅳ-4-B) 心理・社会的療法	認知行動療法	49	パニック障害の治療	
25	Ⅳ-4-B) 心理・社会的療法	生活技能訓練 (SST)	50	パニック障害の患者の家族の生活指導	

※「出題基準項目」「この問題のポイント」は変更になることがあります。科目④～⑨、⑪の問題 36～50 状況設定問題では、「出題基準項目」に代わって「読み解きの留意点」を掲載しました。


科目⑩ 健康支援と社会保障制度 出題基準一覧

問題	出題基準項目	この問題のポイント	問題	出題基準項目	この問題のポイント
	目標 - 大 - 中			目標 - 大 - 中	
1	I-1-B) 家族機能の変化	死亡	26	II-5-G) 高齢者に関する制度	高齢者虐待防止法
2	I-1-B) 家族機能の変化	介護	27	II-5-H) その他の制度	DV防止法
3	I-1-C) ライフスタイルの変化	女性の労働	28	III-6-A) 公衆衛生の理念	健康の定義
4	I-2-A) 地域や職場における機能	ソーシャルサポートネットワーク	29	III-6-D) 健康に関する指標に基づく公衆衛生	死因
5	I-2-A) 地域や職場における機能	ピアサポート	30	III-6-D) 健康に関する指標に基づく公衆衛生	平均寿命
6	I-2-B) 労働と健康	労働基準法	31	III-6-D) 健康に関する指標に基づく公衆衛生	健康寿命
7	I-2-B) 労働と健康	育児休業	32	III-7-A) 感染症の基本	予防接種
8	I-2-B) 労働と健康	就業構造	33	III-7-B) 主要な感染症と動向	人獣共通感染症
9	II-3-B) 社会保障制度	社会保障給付費	34	III-8-A) 地球環境	オゾン層の破壊
10	II-3-B) 社会保障制度	社会保障給付	35	III-8-C) ごみ・廃棄物	一般廃棄物
11	II-3-B) 社会保障制度	地域包括ケアシステム	36	III-9-B) 母子保健	母体保護法
12	II-4-A) 社会保険の理念	国民皆保険	37	III-9-C) 精神保健	精神保健医療福祉の施策
13	II-4-B) 医療保険制度	国民健康保険	38	III-9-D) 学校保健	学校保健安全法
14	II-4-C) 介護保険制度	利用者負担	39	III-9-E) その他の保健活動の基盤となる法や施策	がん対策基本法
15	II-4-C) 介護保険制度	要介護認定	40	III-9-E) その他の保健活動の基盤となる法や施策	難病法
16	II-4-D) 年金制度	国民年金制度	41	III-10-A) 生活習慣病の予防	飲酒
17	II-4-E) その他の関係法規	労働者災害補償保険法	42	III-10-A) 生活習慣病の予防	喫煙
18	II-5-B) 社会福祉に関わる機関	児童相談所	43	III-10-A) 生活習慣病の予防	メタボリックシンドロームの診断基準
19	II-5-B) 社会福祉に関わる機関	社会福祉施設	44	III-10-B) 職場の健康管理	労働安全衛生法
20	II-5-C) 社会福祉における民間活動	民生委員	45	III-10-B) 職場の健康管理	業務上疾病の予防
21	II-5-C) 社会福祉における民間活動	社会福祉協議会	46	IV-11-A) 看護職に関する法	保健師助産師看護師法
22	II-5-D) 生活保護に関する制度	扶助の種類と内容	47	IV-11-B) 医療や社会福祉の関連職に関する法	臨床検査技師等に関する法律
23	II-5-E) 障害者（児）に関する制度	障害者総合支援法	48	IV-11-C) サービスの提供体制	医療法
24	II-5-E) 障害者（児）に関する制度	発達障害者支援法	49	IV-11-C) サービスの提供体制	特定機能病院の機能
25	II-5-F) 児童に関する制度	児童虐待防止法	50	IV-11-D) その他の役割	安全管理(セーフティマネジメント)

科目⑪ 看護の統合と実践 出題基準一覧

問題	出題基準項目	この問題のポイント	問題	出題基準項目	この問題のポイント
	目標 - 大 - 中			目標 - 大 - 中	
1	I-1-A) 看護におけるマネジメントの目的と方法	看護マネジメントの定義	26	II-2-B) 災害各期の特徴と看護	災害時の被災者の心理過程
2	I-1-A) 看護におけるマネジメントの目的と方法	看護組織の構成と職務	27	II-2-B) 災害各期の特徴と看護	災害時の高齢者の心理過程
3	I-1-A) 看護におけるマネジメントの目的と方法	看護行政の動向	28	II-2-B) 災害各期の特徴と看護	静穏期の高齢被災者への看護
4	I-1-B) 医療・看護における質の保証と評価、改善の仕組み	医療・看護の質の評価	29	II-2-B) 災害各期の特徴と看護	災害時の車椅子患者への看護
5	I-1-B) 医療・看護における質の保証と評価、改善の仕組み	クリニカルパス	30	II-2-B) 災害各期の特徴と看護	災害時の腹膜透析患者への看護
6	I-1-C) 看護業務のマネジメント	看護業務基準	31	III-3-A) グローバル化に伴う世界の健康目標と課題	世界保健機関の役割
7	I-1-C) 看護業務のマネジメント	看護ケア提供システム	32	III-3-A) グローバル化に伴う世界の健康目標と課題	持続可能な開発目標
8	I-1-C) 看護業務のマネジメント	タイムプレッシャー	33	III-3-A) グローバル化に伴う世界の健康目標と課題	人間の安全保障
9	I-1-C) 看護業務のマネジメント	多重課題の対応	34	III-3-A) グローバル化に伴う世界の健康目標と課題	プライマリ・ヘルス・ケア
10	I-1-D) 看護業務に関する情報に係る技術と取扱い	医療・看護業務に関する情報の活用	35	III-3-B) グローバルな社会における看護	外国人患者の保険加入
11	I-1-D) 看護業務に関する情報に係る技術と取扱い	診療記録等の電子化	36	災害で家族と死別した人への家族支援	災害で家族を失った人への心のケア
12	I-1-E) 医療安全を維持する仕組みと対策	安全管理体制整備	37	災害で家族と死別した人への「切望の段階」への対応	
13	I-1-E) 医療安全を維持する仕組みと対策	医療安全管理責任者	38	災害で家族と死別した人のサバイバーズ・ギルトへの支援	
14	I-1-E) 医療安全を維持する仕組みと対策	特定機能病院での医療安全対策	39	認知症患者の施設内徘徊時の対応	認知症患者の徘徊、誤薬への対応
15	I-1-E) 医療安全を維持する仕組みと対策	タイムアウト	40	認知症患者への誤薬事故防止の対応	
16	I-1-E) 医療安全を維持する仕組みと対策	再発防止策	41	認知症患者と家族への退院時の服薬指導	
17	I-1-E) 医療安全を維持する仕組みと対策	インシデントレポートの分析	42	宗教上の食事制限が必要な在留外国人への対応	在留外国人の妊娠糖尿病の看護
18	I-1-F) 看護師の働き方のマネジメント	看護師等の労働安全衛生	43	妊娠悪阻の在留外国人への対応	
19	I-1-F) 看護師の働き方のマネジメント	看護の交代勤務	44	出産後の妊娠糖尿病在留外国人への生活指導	
20	I-1-F) 看護師の働き方のマネジメント	ワーク・ライフ・バランスの促進	45	搬送患者の優先トリアージタグ	大規模事故の看護
21	II-2-A) 災害時の医療を支えるしくみ	災害に関する法	46	診療待機患者の急変対応	
22	II-2-A) 災害時の医療を支えるしくみ	災害拠点病院	47	急性ストレス障害が疑われる患者への対応	
23	II-2-A) 災害時の医療を支えるしくみ	トリアージタグ	48	圧挫症候群患者の病院搬送時の対応	圧挫症候群患者の看護
24	II-2-A) 災害時の医療を支えるしくみ	災害時の医療体制(DMAT)	49	圧挫症候群の症状	
25	II-2-B) 災害各期の特徴と看護	災害各期の特徴	50	災害時のストレス反応	

※「出題基準項目」「この問題のポイント」は変更になることがあります。科目④～⑨、⑪の問題36～50状況設定問題では、「出題基準項目」に代わって「読み解きの留意点」を掲載しました。

ご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください  **0120-937-599**
携帯電話からもご利用いただけます